社会生活の自立度評価（SIM）　　実施日：R7年4月

	項目		R7.4	R7.1	R6.10	R6.7	備　考
			平均	平均	平均	平均	
毎日の社会生活を維持するための項目	1．健康管理	必須	5.1	5.0	4.8	4.8	
	2．金銭管理	必須	4.6	4.5	3.9	4.1	
	3．身の回りの管理	必須	5.9	6.4	6.2	5.9	
	4．買い物（買い物先までの移動を除く）	必須	6.4	6.5	5.9	5.6	
	5．家事活動（調理含まず）	選択	6.1	5.9	5.2	4.9	
	6．調理	選択	4.6	5.0	4.5	4.4	
	7．生活のセルフマネジメント	必須	4.6	4.6	4.4	4.4	
社会の一員として積極的に参加するための項目	8 （1）公共交通機関を利用しての外出	1つを選択	6.5	7.0		5.6	
	8 （2）自動車運転	1つを選択					
	9．人間関係	必須	4.3	3.7	3.3	3.5	
	10．仕事/学校	選択	5.4	5.2	5.0	5.1	
	11．地域での余暇活動	必須	4.9	4.2	3.8	3.5	
	12．日中活動	必須	5.5	5.2	5.0	5.1	
共通項目	13．制度・サービス活用	必須	3.2	3.1	2.8	2.9	
合計（１０～９１）			66.0	63.5	53.5	55.9	

＊除外項目は斜線

1.SIM実施者数　：１1名（男性4名、女性7名）
2.平均年齢　　：４6.5歳
3.評価結果の分析
・合計点　　最高点：81点　最低点：３2点
・項目分析　　・前回に比べて８の項目で点数が上がっている。
・「人間関係」「地域での余暇活動」の項目について、生活訓練での集団生活を通して対人交流が促進されたこと、公共交通機関を使った外出訓練の成果により活動範囲が拡大されたことが上がった理由と考えられる。
・新規入所者により初回評価の点数が低くなったが、利用者全体として生活訓練の積み重ねにて点数が向上している項目も見られ、前回より合計点数が2.5点上がった。
・「公共交通機関を利用しての外出」は、実際に電車の利用でのより細かな評価が実施できた。プログラム参加者の経験値や場面の柔軟性に差が見られ、平均で1.５点下がった。